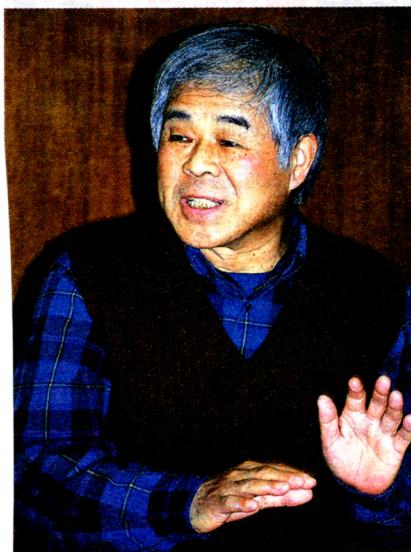


422, 01.05

発行 株式会社 伝書鳩 発行責任者 藤澤 達夫

# より良い病院になって

編集部・営業部  
経済の伝書鳩本社/北見市幸町2丁目「フサツビル」内6(0152)6-43399(内)  
網走支店/網走市大曲1丁目13-8  
北見FAX(0152)23-43008・網走FAX(0152)6-24300

(0152)6-24300

# 経済の伝書鳩

しあわせの情報

日本ABC協会加盟紙  
新聞雑誌部数公査機構

## 新春インタビュー

### 北見赤十字病院の明日を考え支援する会 代表・谷川勝男さん(68)

昨年12月に北見市に発足した「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」。同病院がより良い病院になるよう活動をしようと有志が集まつた。代表の谷川勝男さん(68)は「感謝の気持ちを持ちながら、病院の機能や役割を知ることから始めたい」という。谷川さんに話を聞いた。

谷川さんは、地域にとって大切な病院です。その病院がより良くなければと思って安心しています。安心して暮らせるまことに暮らせるように

「会を作ろう」というきっかけは、「北見赤に入院したのがきっかけです。同じ病室の患者の方といろいろ話をしました。地域の人と病院が互いに近い存在になるために、何かできないか、と思うようになりました。もう少しに気づけばよかったです。

「病院と市民、どんな関係になりたいと思っていますか」「北見赤には医師、看護師、技師、事務の方など千人近くが毎日、懸命に働いています。その方達に感謝の気持ちを持ち続けたい。北見赤も患者の悩みや要望を十分くみ取ってもらえるようになつてほしいので、市民の立場で進言したいとも思います」

話でも、病院をより良くするのに役立つなら積極的に提言したいと思います」

「会が正式に発足した時、どう感じましたか？」

「まずは、どんな活動をしますか？」

「まず北見赤の機能や役割、実際にどんなことをしているのか学びたい。北見赤に協力していだだいて見学会や説明会を開き、事務局の役割をする世話人会がある以外は、会則などを設定しない有志の集まりにしてしまいます。感謝しながら病院を良くしたいと思う

「病院が良くなつても、人がたくさんいることが分かりました。市民としてできることをみんなで考えながら進みたいと思います」(栗)

### 有志で活動開始、市民の立場で進言など

「その方向に賛同します」

「どんな提言をしたいですか」「新病院には高

度医療などの治療だけでなく予防医療の機能も持つような提言をしたいと思います。耳の痛い

北見はしろう会が参加呼びかけ  
主催の寒中マラソン  
ノンが10日(日)午前10時半から、北見市内の東陵運動公園内で行われる。

参加希望者は当日9時半~10時に道の松浦さん(014872-049

### 10日・北見で寒中マラソン

同公園内のコース(1周1・3キ)を2周、または4周する。参加料は小中学生100円、一般200円。完走する人は記録証を交付する。問い合わせは同

10日・北見で寒中マラソン